

みやぎの環境

特集 海とくらし

NO. 11



1995

9

のどかな大都会

タレント 杜けあき

私がつけた生まれ故郷仙台へのキャッチフレーズです。

もちろんこれは実際そう思ったからと、いつまでもこうあって欲しいという願望と、両方入っているのかもしれない。

帰る度に少しづつ顔を変えて行く故郷。お願い、そののどかさを無くさないで。心が叫ぶ時もあります。

でも、最近思う事があったのです。仕事で大阪へ行った時、いつものホテルに宿泊したのですが、ついこの間までは確かに無かったものが目に止まりました。大きな容器に入ったシャンプーとボディーソープ……。いつもある小さい袋詰めのもものもキッチンと置いてあります。そしてその横には、環境問題の為、よろしければこちらの容器の方をお使い下さい、と。ああ、こんなに小さいことからいいんだ、環境を守ることって。と私は大きく頷きました。

人間って時々物事を大袈裟に考えがちですが、やるべき事はとても身近にあるようです。そして健康や平和と一縮で環境も人それぞれが自ら創っていくものだと。

そう、開発するのと同じように。壊さないだけでは無く、つくって行く事も大切なのだと。

そう言えばもうひとつ思いつく事があります。そう、あのバブルの全盛期、何でも使い捨てがもてはやされ、それが、「カッコイイ」とされていた時代。そしてその逆流の今、何がカッコいいって一生懸命、詰め替え用を買って来たり、ゴミを極力ださない努力をしたり、そんな小さな一歩が、めちゃくちゃカッコいいと私は思いました。

CONTENTS

のどかな大都会	杜けあき
特集◎海とくらし	
——海をいつまでも美しく保つために——	3
みみづく山	柴崎 徹
エコライフ	
環境基本条例施行に伴う環境活動プラン・読者の声	10
INFORMATION	
NEWS・環境伝言板	
紹介・環境情報センターから	12
見る・聴く・ふれる	
宮床宝蔵	14
まちなみ	
利府町菅谷地	近江 隆
	15

みやぎの環境 第11号



ハマナス

表紙：秋の有備館(岩出山町)

集 海とくら

集 海をいつまでも美しく
味つたため



桂島の潮干狩り(塩釜市)

私たちの住む宮城県は古くから海の恩恵によって発展してきたところといっても過言ではないでしょう。

県の北東部から南東部にかけて続く長い海岸線には気仙沼、石巻、塩釜といった日本を代表する漁港が栄え、県の中央部には昔から海の景勝地として日本三景の一つに数えられている松島があります。また、岩手県から気仙沼を経て金華山まで続くリアス式海岸の沖合いは世界有数の漁場として知られています。

私たちはこのような海の恵みを長い間当然のこととしてくらしてきたような気がします。しかし、今この海が少しづつ汚染されようとしています。海の汚染はそこに棲む生物ばかりではなく、私たちの生活にも様々な影響を与えます。

そこで、今回は私たちの周りの海の環境について考えてみたいと思います。

海をいつまでも美しく保つために

海とくらし



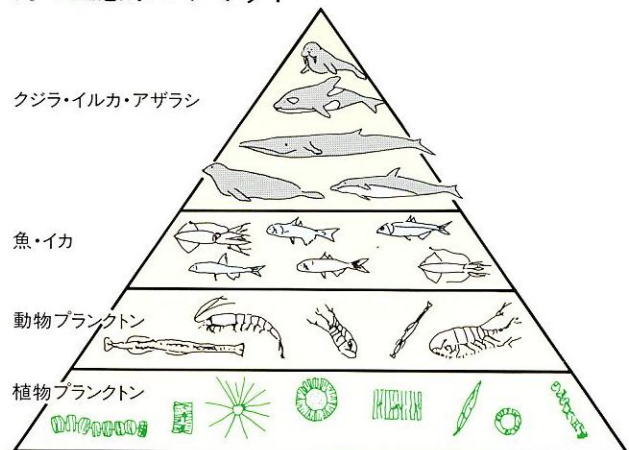
松島

地球は水の惑星とよく言われますが、地球上の水の九十八％は地表面積の七十％を占める海に蓄えられています。ここで三十五億年前生命が誕生して以来、地球は生命の星として栄えてきました。そのため海は生命の源、命の母とも言われています。そして現在も多くの生物がこの母なる海の中で生活しています。

ここでは鯨をはじめとする大型のほ乳類から魚類、イカやタコなどの軟体動物、それに蟹や貝類、海藻類さらにプランクトンまで様々な生物がお互いに影響しながら生活しています。これを海の生態系と言いますが、陸上で生活する動物も食物をとおして海の生物と密接に関係しています。私達人間も海から様々な恵みを受けてきました。特に日本人は昔から海の生物を食糧として利用してきました。食物の多くを海の産物に依存してきたのです。これは大昔も現在も将来も変わらないでしょう。

その他に、海は地球の気候とも大きな係わりがあります。地球の昼夜の温度差が他の惑星に比べて小さく穏やかなのは比熱の大きい海水が地表を覆っているためです。また、毎日刻々と変わる天気の変化も台風の発生も太陽に暖められた海と大気の相互作用によって起こる現象です。このような点からも海は地球環境にとって大切なところとも言えるでしょう。このように私達の生活と密接に関係がある海の汚染が今少しづつ進行しています。

海の生態系ピラミッド



資料：恐るべき海洋汚染(合同出版)より改変

海の汚染の歴史

最初に、海洋汚染の歴史をみてみましょう。わが国で水質汚染がはじめて注目されたのは一八七五年に発生した渡良瀬川での足尾銅山の鉱毒事件です。

戦後、産業が復興するのと比例して水質汚染は河川の下流や河口付近にまで広がりました。海洋の汚染にまで発展していきました。やがて、水俣病の原因となった海の毒物汚染が大きな社会問題になりました。

一九六七年にはこれら海洋汚染を含む環境汚染の防止のため、公害対策基本法が公布され、一九七一年には環境庁が誕生しました。これによって国、自治体、企業、住民が一九九〇年となって汚染防止、回復

に努めた結果、わが国の海洋汚染も一時期のような危機的状況を脱し、回復に向かいつつありますが、現在でも様々な形の汚染の問題が起こっています。

最近特に注目されているのは窒素、リン化合物による海の富栄養化の問題です。富栄養化というのは海の中に植物プランクトンなどの生育に必要な栄養分が増えることです。赤潮の発生の原因についてはまだ解明されていない部分もありますが、多くは海の富栄養化によるものと言われています。

海の汚染経路

海には様々な汚染物質が流れてきます。人間が生活や産業活動で使った残りかすや排泄物などの多くは、現在では浄化槽や下水処理場できれいにされてから川や海に流されていますが、これらの一部はそのまま下水に流され海を汚染しています。また、田や畑やゴルフ場からは農薬が流れ込むこともあります。

これら陸上から流れ込むもの以外に、大気から海に入り込む汚染物もあります。これらの多くは、産業活動などによって石油や石炭を燃やした時に放出される排気ガスの中に含まれていたものが、大気中を漂った後に海に落ちてきたものです。酸性雨の原因である亜硫酸や亜硝酸などのほかにゴソリンの中に含まれる鉛などもこれにあたります。

そのほか船からの重油流出事故や戦

赤潮・青潮

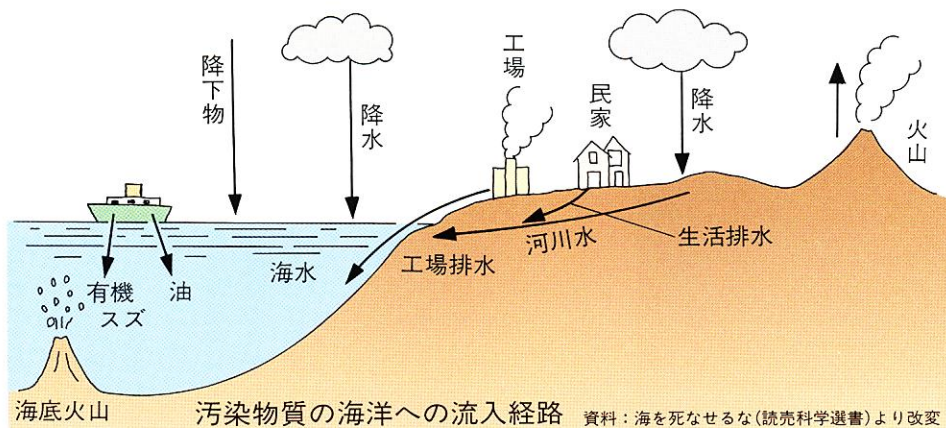
(栄養塩類による汚染)

生活排水や産業排水の中に含まれている窒素やリンなどの化合物を栄養塩類といいます。肉や魚を調理した残り汁や食べ残しの中や人や家畜の排泄物や汗のなかには窒素やリンが多量に含まれています。

これらは私達人間を含む生物の生存にとって不可欠な成分ですがこれらが過剰に水中に存在すると、特定の植物プランクトンが異常に増え、海の色が赤色に変色することがあります。これを赤潮と言います。これは閉鎖された湾内で多く発生し、魚の鰓に入り込んで窒息死させたりして、養殖業を中心とした漁業に大きな被害をもたらすことがあります。青潮は海水が青緑白色に濁る現象です。これは海の底にたまった有機物を分解するためバクテリアが酸素を消費し、海の底の層に酸素が少ない層ができて、そこで嫌気性菌の活動によって硫化水素が発生してできたものです。これが風の向きなどによって、海の表面にわきあがってきたものが青潮です。青潮も有毒な硫化水素を含むため、魚介類を大量に死亡させる原因になります。



仙台湾の赤潮(1994.5.24)



争などによっても、多量の汚染物質が海中に放出されることがあります。人間の使ったもの以外でも土壌から雨水に溶けだしてくる砒素や鉛などの重金属、火山活動による噴出物中に含まれる様々な物質も海洋汚染の原因になります。

それではこのように汚染が進行している海をこれ以上汚さないようにするにはどうしたらよいでしょうか。私達が日常生活で出来る事を考えてみましょう。第一に考えられることはできるだけ汚れた水を海に流さないようにすることです。

海の浄化 私達にできること

化学物質による汚染

現在地球上に存在する化学物質の数は1000万種を越えるといわれています。種々の産業活動や私達の生活からこれらの化学物質は環境に放出されています。これらのほとんどは二十世紀になって使われはじめたものです。

1988年に北海のあざらしが大量に死んだ事件がありました。これはウイルスの感染によるものということが後で分かりましたが、この死体中から高濃度のDDT、BHCなどの農薬、鉛、水銀などの重金属、PCBなどが検出されました。

これらの化学物質は汚染された海に棲む生物の食物連鎖をとおして長い間に高い濃度になってあざらしのような大きな動物に蓄積されたと考えられます。こうした化学物質は分解しにくく、その生物とそれを食べて生活する生物の健康に重大な影響を与えることが知られています。最近では船や漁網に付着する貝や海藻よけにつかわれるトリブチルスズ化合物がハマチなどの養殖魚から見つかって問題になっています。



松島湾しゅんせつ工事

しかし、これは簡単なようでなかなか難しいようです。私達は毎日の生活や生産活動のため大量の水を使用しています。そしてその結果として大量の排水を流しているからです。

現在、海を汚染している一番大きな原因は生活排水によるものと言われています。

ところで皆さんはBOD、CODという言葉聞いたことがありますか。水質が良いとか悪いとかという話によく出てくる用語です。BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量のことです。細かいことは省きますが、いずれも河川や海の中の有機物の量つまり汚れ具合を示す単位です。

それでは私達は日常生活でどのくらい



のBODを排出しているのでしょうか。

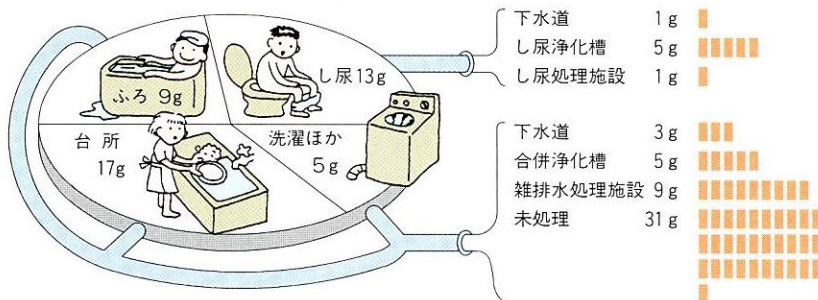
一日一人が排泄するし尿のBODの量は十三gです。これを公共下水道やし尿処理施設で処理すると1g以下に減少します。次に、し尿以外の家庭排水では台所用水、風呂水、洗濯水がそれぞれ十七g、九g、五gのBODを含んでいます。これをもしそのまま処理せずに排出すると合計三十一gのBODを川や海に流すこととなります。

台所の三角コーナーにストッキングなどをかぶせて野菜くずや固形物を取り除くことは、排水の汚濁を少しでも減らすために大切な事なのです。また油分も大きなBODを持っています。油の付いた皿や容器は紙でふいてから洗うこともよ

い方法です。これは下水道などが整備されているところでもその機能に負担をかけるために必要なことです。

この他に海の環境汚染の大きな原因となっているものに海へのゴミの投棄があります。海岸での空き缶、プラスチック、釣り針、釣り糸の投げ捨ては絶対に止めましょう。海水浴や釣りは海の自然に親しむ良い機会ですが、帰りには必ずゴミを持ち返りたいものです。

家庭排水中のBOD量



資料：台所からの地球環境(ぎょうせい)より改変

海の自浄作用

干潟の浄化機能

海水をきれいにする作用は海自身にも存在しています。海の自然の浄化作用について考えてみましょう。

松島湾などの湾の奥の方や沿岸部には砂や泥からできた浅瀬があります。ここを干潟といいます。ここには太陽の光が良く届くためアマモなどの海藻がたくさん生えていて、酸素をたくさん出すと同時に海の生物に棲み家を提供していま

す。また、砂や泥の中はアサリやハマグリやゴカイなどの棲み家になっています。これらをカレイやスズキといった沿岸に棲む魚達が食べ、更に動植物の死骸は巻き貝や蟹などによって食べられています。このように干潟では食物連鎖が効率よくおこなわれており、有機物が溜まることなく常に海がきれいになっているのです。自然による浄化機能が発達した場所といってもよいかもしれません。

しかし、現在では干潟の多くが埋め立てられ、排水が直接海に流れ込むようになりまし。干潟が少なくなったところへ、栄養塩を多く含んだ有機物が多量に入っていくと、これらは十分分解されずに海底に溜まることになります。バクテリアがこれらを分解しますが、このために多くの酸素を消費し、海底は酸欠状態になりヘドロと化してしまいます。

一方、豊かな干潟ではたくさんの生物が棲息しているので有機物は速やかに分解されていきます。さらに干潟の動物は水鳥たちの餌となり、豊かな生態系を造ります。

このように干潟は海の水を浄化すると同時に多くの野生生物達の棲み家になっているのです。干潟の保存や再生はこのような理由から大切なのです。

平成五年十一月に環境基本法が、平成七年四月には宮城県環境基本条例が施行されました。これらのなかにも水質の

閉鎖性海域の水質保全対策

閉鎖された海例えば松島湾などでは海水の外海との循環が悪いため、一度汚染されるとなかなか元には戻らなくなりま。

このため湾内の窒素、リンによる富栄養化の進行を防ぐことを目的として、平成5年8月に全国88箇所の内湾海域に窒素リンに関する環境基準及び規制基準が定められました。県内で、排水基準が適用される閉鎖海域として広田湾、気仙沼湾、志津川湾、雄勝湾、女川湾、鮫浦湾、万石浦及び松島湾の8箇所が指定されました。

この他に県では松島湾のリフレッシュ事業や人工の干潟を造る試みなどを実施し、海洋汚染の防止に努めています。もちろん海洋汚染の抜本的対策である下水処理施設の建設は県、市、町、村によりこれらの事業と並行して進められています。



蒲生干潟(仙台市)

汚染等の環境の汚染対策を総合的に推進していくことが盛り込まれています。

海の環境の保全についても化学物質による汚染、有機物による汚濁、窒素、リンによる富栄養化の防止、沿岸の生態系等を総合的にとらえた施策の推進が今後必要になると考えられます。

平成八年からは七月二十日が「海の日」として国民の祝日に決まりました。

私達一人ひとりも宮城の海を、世界につながる海を、いつまでも美しく保つために今しなければならぬことを真剣に考えなければならないのではないでしようか。

▼参考にした図書▲

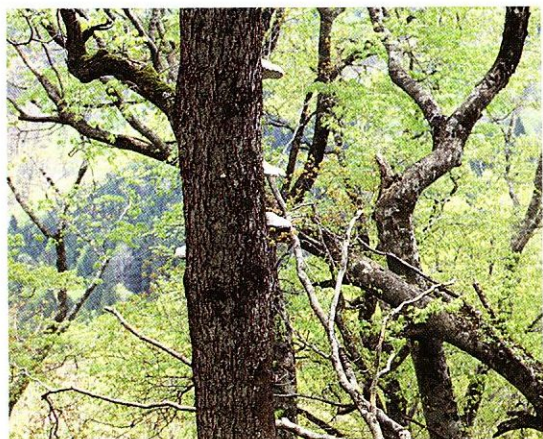
- 1、海に何が起っているか
関文威・小池勲夫編
岩波ジュニア新書
- 2、恐るべき海洋汚染
宮崎信之
合同出版
- 3、海を死なせるな
村上彰男・平野敏行・山田久
読売科学選書
- 4、台所からの地球環境
環境総合研究所編
ぎょうせい
- 5、よくわかる水問題 一問一答
安東毅・小林勇監修
合同出版
- 6、かんきょう 四月号
ぎょうせい
- 7、赤潮―発生機構と対策
日本水産学会編
恒星社厚生閣
- 8、宮城県環境白書
平成六年版

無人の奥地 みみづく山

すがすがしいブナ林を辿る



山頂附近の小岩峰と東崖 しょうがんぼう



サルノコシカケの付いた樹



みみづく山(鳴子町中山平より)



(財)宮城県伊豆沼・内沼
環境保全財団研究室長

柴崎

徹(文と写真)



みみづく山のことは、少し説明が容るが、歴とした宮城の山である。

標高八六一・八八、奥羽脊梁上・鳴子町と山形県最上町にまたがる山である。

高さは低い、それでも田代峠(宮崎町)・中山峠(鳴子町)間の最高峰でもある。

この山が私たちに馴染みが薄かったのは、この高さのせいばかりではない。広大な山地に囲まれて、どの山より無人の奥地にあつたからである。しかし山名はわからずとも、実際にこの山を目にして

きた人もたくさんいたはずである。何故なら鳴子の大谷川を通して西の方に聳えている山が、みみづく山に他ならないからだ。

みみづく山は、鋭どく突つた双耳峰が魅力的な山である。この辺りでは異色の山といふべきだろう。東北の屋根・奥羽山脈の山々には、西緩東急の非対称山稜の山が少なくない。禿岳にも翁峠山も皆そうである。そしてこのみみづく山もその典型である。西斜面を巻き上つた雪が

東斜面に吹き溜り、雪崩を頻発して急崖をつくりだしているのだ。その底には岩堂沢の深い谷が刻まれている。雪崩に抗して山頂に突き出た双耳の突起、それがみみづくの名の由来になつたあの岩峰である。

すがすがしいブナ林を辿つて、狭い山頂に立つと、足下には雪崩跡地を無数に刻んだ岩堂沢が、まるで迷路のように、私たちのみみづく山を取り囲んでいた。

●交通案内●

みみづく山へのアプローチは、宮崎町切込から山形県最上町赤倉に通じる林道を辿る。しかし山頂への登山路はない。

みみづく山の眺望地としては、①鳴子町江合川畔(西南西方向)、②同中山平(南西方向)、③宮崎町田代元田代間(北西方向)が好位置。



山頂附近のイワウチワ



ブナ林の下にひっそりと咲くキクザキイチゲ

基本方針

環境配慮行動プランより

環境保全型

ライフスタイルの定着を!

環境に配慮したくらしは、わかったようでわからない言葉かもしれません。どんなライフスタイルが、環境に配慮したくらしにつながるのか、具体的に示そうと、宮城県では、平成七年三月に宮城県環境配慮行動プランを作成しました。

このプランは、

① 環境保全型ライフスタイルの定着

② 環境に配慮したまちづくりの推進

③ 環境と共生する社会システムづくり

その1

暮らしの中のムダをなくしましょう

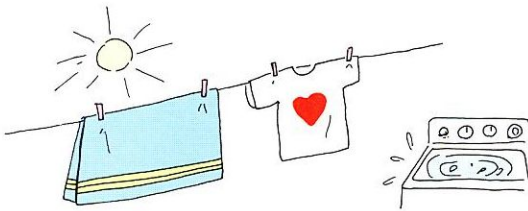
● 節水に取り組みましょう

節水コマを使いましょう

水道の蛇口から流れる水の量は、約十二リットル/分といわれていますが、節水コマをつければ半分の六リットル/分に減らすことができます。



蛇口はこまめに閉めましょう



	使い方	使用水量ℓ	節水量ℓ
食器洗い	流しっぱなし(10分)	120.0	100.0
	流しにためて使う	20.0	
歯みがき	流しっぱなし(30秒)	6.0	5.4
	コップ3杯	0.6	
ひげ剃り	流しっぱなし(5分)	60.0	56.0
	器にためて使う	4.0	
節水量合計			161.4

お風呂の残り湯を洗濯や洗車に使いましょう

洗濯の場合、容量四キログラムの洗濯機を使うと、残り湯使用では約四十リットル、洗車の場合約三十リットルの節水になります。

トイレの音消しはやめましょう

トイレ一回当たりの平均使用水量は約十二リットルです。音消しのため一回分を節水すれば、十二リットルの節水となります。

● 省エネルギーに取り組みましょう

テレビ、照明のスイッチはこまめに消しましょう

二十型テレビの場合、こまめに電気を消すことで一時間短縮すれば、年間五十五キロワット時、照明の場合は年間百二十キロワット時が節電できます。また、照明の白熱電球を省エネルギー型蛍光灯に代えると年間八十六キロワット時の節電が可能です。

部屋の温めすぎ冷やしすぎに注意しましょう

冷暖房の温度を、暖房なら二十度、冷房なら二十八度に調節すると、ルームエアコンの場合、年間では八十四キロワット時の節電となります。

● ガスの消費を減らしましょう

湯沸かし器を上手に活用しましょう

お湯を沸かす効率率は、ガスコンロより湯沸かし器の方が二倍近く高いとされています。お湯を沸かすときは、湯沸かし器のお湯をガスコンロにかけると省エネになります。

の三つの基本方針で構成されています。その中から、私たち一人ひとりの日常生活と最も関わりの深い「環境保全型ライフスタイルの定着」について紹介しましょう。

環境保全型ライフスタイルの定着

- その1 暮らしの中のムダをなくしましょう。
- その2 生活環境に配慮しましょう。
- その3 ごみの減量化・リサイクルを推進しましょう。
- その4 趣味や行楽のときも環境に配慮しましょう。
- その5 環境学習に取り組みましょう。

その2

生活環境に配慮しましょう

●きれいな水にするため、台所で配慮しましょう

油はできるだけ使いきりましょう

どっしりしても残ったら、固めて捨てるか、新聞紙などに含ませて捨てましょう。

食器の汚れは拭き取ってから洗いましょう

油料理の汚れなど、食器の汚れは拭き取ってから洗えば、排水はすいぶんきれいになり、節水にもなります。



今回は、環境保全型ライフスタイルの一部を紹介しました。次回はその3以降を紹介させていただきます。また、内容についてのお問い合わせは宮城県環境政策課（☎022-221-2663）までお願いします。

◎特集に環境審議会答申の概要が掲載されていて参考になりました。「まちなみ」を大変興味深く読んでいます。本校も環境教育モデル校に指定されており、全校生徒に環境問題の作文を募集したりして普及活動を広げています。
(村田町 T・Sさん)

◎森林が川を通して海まで影響していることは科学的にも実証が進み、大変なことが分かってきました。水環境を取り上げるとき、森林と川との関係は北上川、阿武隈川、大川など岩手、福島と県をまたいで考えなければならぬわけですね。

(唐桑町 S・Hさん)

読者の声

◎本誌の中では柴崎氏の「しぜん」が気に入っています。今後も永い掲載を希望します。
(仙台市 M・Fさん)

◎小冊子を見せていただき本県も本格的に環境緑化に力を注いでいることを改めて知りました。国道、県道、市町村道に街路樹の植樹をお願いしたい。
(角田市 M・Sさん)

◎近くの道路を何回となく通っているのに大和町の桑沼、笹谷の仙人沢など秘境のような場所をはじめ知りました。是非行ってみたいと思っています。

(岩出山町 K・Tさん)

NEWS

みやぎ「環境の日」イベント開催される

地球とはもった
なかよくなれるはず

今年で二回目を迎える環境の日と四月一日から県の環境基本条例が施行されたことを記念して、みやぎ「環境の日」フェアが六月五日に開催されました。

仙台市サンモール一番町藤崎デパート前で行われた街頭キャンペーンでは、環境問題を題材にした展示パネルに多くの通行人が立ち止まり、現在の環境問題の深刻さに認識を新たにしました。他に解答成績によって、アサガオの苗やテレホンカードが当たる環境クイズには、約五百人が参加しました。アサガオの花（品種：スカレットオハラ）は、酸性雨にあたると変色することから、家庭で簡単にできる酸性雨の観測方法として知られており、用意されたアサガオの苗三百鉢は人気が高く、たちまちのうちになくなりました。

また、県庁講堂では、約二百五十人が



参加して「環境の日」記念講演会が開催されました。

岩手大学助教授の磯崎博司氏が「地球環境と私たち」と題し、地球が抱えている環境問題は、私たち人間の活動が原因であることと、問題を解決しなければならぬ私たちの責任について講演。村田町在住の陶芸家吉川団十郎さんは、「みんな生きている」と題して、自ら実践している環境保全活動を紹介しながら、地域での身近な環境問題の取り組みの大切さを訴えました。

続いて、東北大学名誉教授の塚本哲人氏と熊谷繁宮城県環境生活部長が加わり、「環境問題と環境基本条例」をテーマにパネル討論が行われ、一人ひとりが日常生活を見直し、環境に与える影響を少なくする努力が必要であると結んで、フェアは盛会のうちに終了しました。

NEWS

環境基本条例の施行について

県は、今日の複雑かつ多様化する環境問題に対応するため、本年四月一日から「環境基本条例」を施行しました。

環境基本条例は、①豊かで美しい県土の構築を進めるための基本理念を明らかにすること、②そのための行政、事業者、県民の責務を明確にすること、③県の施策の基本となる事項を定めること、によって良好な環境の保全及び創造の取り組みを総合的・計画的に推進していくための枠組みを定めたものです。

①県民は、あらゆる活動において環境に配慮しながら豊かで美しい県土の構築を進め、将来の世代に引き継いでいく使命を担っていることを示しています。

②人と自然が共生できる県土を構築しこ

れを将来の世代に継承していくこと、持続的な発展が可能な県土を構築すること、地球環境の保全を推進すること、の三点を基本理念としています。（第三条）

③各般にわたる県の施策の策定・実施に当たり、環境への配慮（第八条）を求めるとともに、良好な環境の保全及び創造に関する施策を推進するため、知事に対し環境基本計画の策定（第九条）を義務づけています。

④環境基本計画の策定段階における県民の意見の反映のための措置（第九条）を講ずるほか、環境白書の作成・公表（第十条）、環境教育の振興等（第十八条）を推進することとしています。

⑤地球環境の保全に資する施策や国際協力推進（第二十三条）こととして

県土の良好な環境の保全及び創造に向けて、県民の皆さんの御理解と御協力をお願いします。

お問い合わせ先：県環境政策課

☎022-222-2663

伝言板

「みやぎの栗原」
シンポジウム

近年、地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨といった地球環境問題が深刻化しています。

そこで、県では、圏域ごとに地球環境保全の普及啓発を行っていますが、今年は栗原圏域を会場に開催しますので、多くの方々の参加をお待ちしています。

メインイベント

○十一月七日午後一時三十分

築館町栗原文化会館

○環境にやさしい講演

講師 みなみらんぼう

○私たちにできることを語ろう 知事を囲んで
○環境クイズ 会場全員で

地球環境ワークショップ

○十一月五日 伊豆沼サンクチュアリセンター
○伊豆沼で地球環境を考えよう

地球環境出前講座

○十月二十七日
○一迫町立姫松小学校
○川の生物から環境を考えよう

田園鉄道エコミュージアム

○十一月五日くりはら田園鉄道沿線
○ポスター展
○ストリートオルガンコンサート
なお、十一月七日はメインイベントと同会場の栗原文化会館で午前十一時～
○リサイクルクラフト展
○リサイクルバザー・リサイクルクイズ
○特産品販売・エコクッキング
○町村コーナー（わが町自慢の環境）等が同時開催されます。

伝言板 地球温暖化アジア太平洋地域セミナー開催のお知らせ

環境庁、宮城県、仙台市は、アジア太平洋地域各国の地球温暖化に係わる行政担当者、専門家、国際機関及び学識経験者を招いて、地球温暖化アジア太平洋地域セミナーを開催します。

セミナーは、専門家による意見交換と一般の方々を対象にしたシンポジウムに分けて開催し、シンポジウムでは、基調講演とパネルディスカッションを予定しております。

日程 第一部 専門家会議
平成八年一月二十三日（火）～
二十五日（木）

第二部 シンポジウム
平成八年一月二十五日（木）

場所 仙台国際センター
シンポジウムに、多くの方々の参加をお待ちしております。お問い合わせは、

県環境政策課（☎022-222-2663）へ。

紹介

ふるさとの自然を知る

山元町植物生調査会

昭和五十四年四月、心ない人の捨てる散乱ごみの対策が全国的に叫ばれはじめたのに先がけて、山元町では環境保全課が設置され、ごみ、下水、し尿処理行政のほか、自然環境の保全の仕事も担当することになりました。

町民の間にも清掃奉仕やボランティア活動をとおして、美しい自然を保つためには、ふるさとの自然を町民自身知ることが大切ではないかという機運が高まり



ました。さらに、当時地元山下第二小学校教員であった岩佐慶治先生が中心になった「親子で星を見る会」などの催しがふるさとの自然を見直すきっかけとなりました。

その後昭和六十年二月に植物好きの二十人の素人集団で発足したのが植物生調査会です。会では風雨に関係なく調査、観察の定例会を月一回実施しております。これまでの十年間で会が刊行した代表的な本「自然はともだち」のほかに、自然観察シリーズ「やまもとの野鳥」「やまもとの昆虫」に続く二部作の完結編「やまもとの植物」をこの程発刊しました。編集中に「クリンユキフデ」と思われていた山元町に自生するタテ科の植物が新種であることが判明し、東北部阿武隈山系に産することから「アブクマトラノオ」と命名され、日本植物学会東北支部より発表されました。

このほかの事業として、会は山元町を北限とする植物「モウセンゴケ」などに、不心得な捕獲者があつたを絶たないため移植による保護と増殖に努めております。

平成七年六月五日の環境の日に地域環境保全功労者として会長の岩佐慶治氏が環境庁長官賞を受賞しました。この事は会員の大きな励みになり、これからも郷土の失われつつある自然や植物を植生調査会の手で守る決意を新たにしました。

(R・T)

▼問い合わせ先

〒九八九―一二二 山元町浅生原字作田山三二

山元町環境保全課 武田良子

☎〇二二三―三七一一二〇

環境情報センターから

新しくパネルをつくりました

環境情報センターでは、すでに作成したパネルのほか、私たちの身の周りにある自然に関するパネルを作りました。

①洪水や土砂崩れ、気温をやらわける「森林の働き」②垂直分布と水平分布による「森林のいろいろ」③様々な生物が互いに影響しあひながら生活している「生態系」④動植物が自然の状態で暮らしている棲み家「おねがいです、生息地をください」

さい／⑤近くの川原の鳥や植物のようす、水の汚れなどによる「川の自然度を調べてみよう」の五枚一組のもので身近な自然を大切にしよう解説しています。

サイズはいずれもB1判(約新聞紙四ページ大でアルミ枠、吊り下げ用鎖がついています)。

環境に関する展示会、地域の各種行事等、気軽にご利用下さい。

紙芝居

『こぞうのファンファン』

企画・製作/財団法人環境協会 ● 作/高見 映 ● 画/枝常 弘
(のっぼさん)

『自然と人間との共生』をテーマに、森の中の静かな環境を舞台にして、わがまを押し通す子象を通じ、周囲に知らぬ間に迷惑をかけていることを認識させる物語です。

(児童・幼児対象：12枚1組)

〒983

仙台市宮城野区幸町4-7-2

宮城県保健環境センター1F

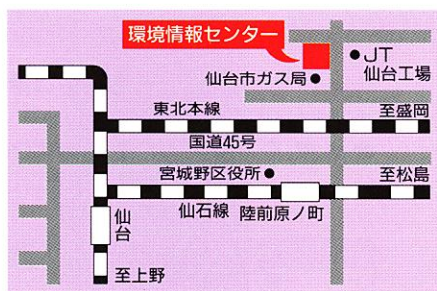
宮城環境情報センター

TEL 022(257)7181 内線29

利用時間/月～金曜日、午前9時から午後4時まで

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通/仙台市営バス 保健環境センター・たばこ工場下車すぐ



伊達の村 宮床宝蔵

みやとこたからくら

七ツ森の自然と

古人のロマンが息づく古里

七ツ森に囲まれて風光明媚な自然環境に恵まれて、名所・史跡が多い古里、大和町宮床。

伊達政宗公の孫にあたる宗房公以来、ここ大和町宮床は伊達家の小城下町として続いてきました。

また、宗房公の子である吉村公は、仙台藩五代藩主となり、仙台藩の財政再建に力を尽くしたことから「中興の名君」と謳われています。

そうしたことから当地には、伊達家縁の品々が数多く残り、伊達文化が息づいています。

そこで、それらの伝世品の保存と展示を中心に、縄文時代にはじまる宮床の歴史と生活を後世に伝えるため「伊達の村 宮床宝蔵」を平成五年に開館しました。

展示室は「七ツ森の風土と伝統」「山里の暮らしと生業」「祈りの森」「宮床の伊達様」「武士たちの心の里」の五つに分かれ、そこには四季を背景に七ツ森に育てられた暮らしと歴史が広がります。



また、展示室を通り過ぎただけではわからない隠された展示がしてあります。展示されている箆笥類の引き出しをそつと開けてみてください。小さな夢の世界が膨らみます。

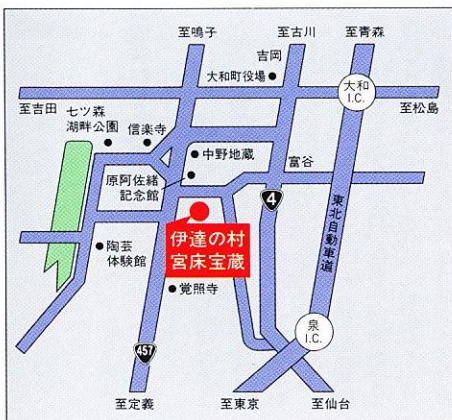
ガイド

■交通案内

仙台から車で約40分
古川から車で約35分

■お問い合わせ

伊達の村宮床宝蔵 ☎022(346)2438



利用のご案内

- 開館時間／午前9時～午後4時
- 休館日／月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
祝日・振替休日の翌日(土・日・祝日の場合は開館)
12月28日～1月4日

	個人	団体(20名以上)
一般	200円	160円
大学生	150円	120円
中・高校生	100円	80円

都市のランドマーク

東北大学工学部教授 近江 隆

うねる大地と畑のかなたに聳えるカテドラルは、中世の人々が身も心も捧げた信仰と生活の中心であり、都市の中心に位置し、ランドマークとなり、時の力の象徴でもある。ランドマークとは人々の道しるべであり、人々はそれを見ることによって、自らの帰属感と安心感を得る。

自然の山や樹木、寺社の塔、城郭、鎮守の森、火の見櫓、工場のプラントや煙突、テレビ・電波塔、郊外団地の給水塔、広告塔、超高層建築と、身近なランドマークは時代を映す。現代都市に聳えるスカイスクレーパー、遠くからは巨大さと物質性を、近くでは高さで浮遊感を強調し、様々な角度や位置から視認される。時の力の象徴である。しかし、人々はそれにどんな帰属感をもつのだろうか。

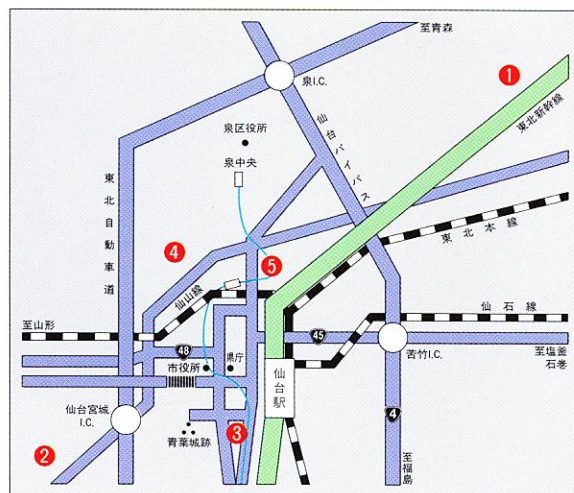
ランドマーク、それは都市のアクティビティの集積の象徴であり、ライフスタイルの象徴であり、情報の象徴であり、文化の象徴である。同時にそれらはよそよそしい、場違いな、時代認識のずれた、存在を忌み嫌われるランドマークともなる。都市のランドマークは、今や都市の人々の間の見えないうれしさを象徴しているように思われる。

*カテドラル……大聖堂／スカイスクレーパー……超高層建築



① 聳立しながら周囲の風景に溶け込むランドマーク

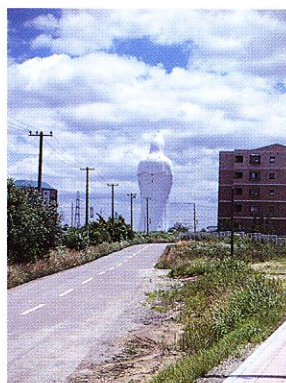
所在地



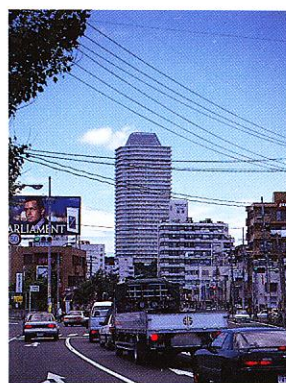
② 仙台のシンボル太白山



③ 超高層建築の遠景



④ ランドマークの様々な眺め



⑤ 巨大な視野を占める超高層



県獣：シカ